

第六号様式（第八条）

身体障害者診断書・意見書（肝臓機能障害用）

総括表

氏 名	年 月 日生（ ）歳	男・女
住 所		
① 障害名（部位を明記）		
② 原因となつた 疾病・外傷名	交通 労災 その他の事故 戦傷 戦災 疾病 先天性 その他（ ）	
③ 疾病・外傷発生年月日	年 月 日・場所	
④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定） 年 月 日		
⑤ 総合所見		
〔将来再認定 要・不要〕 （再認定の時期 年 月）		
⑥ その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。		
年 月 日		
病院又は診療所の名称 所 在 地 担当診療科名 科 医師氏名 ㊟		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見〔障害程度等級についても参考意見を記入〕 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・該当する（ ）級相当 ・該当しない		
注		
1 障害名には、現在起こつている障害、例えば両耳ろう、心臓機能障害等を記入し、原因となつた疾病には、先天性難聴、僧帽弁膜狭窄等原因となつた疾患名を記入してください。		
2 「障害の状態及び所見を記載した書面」（別様式）を添付してください。		
3 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見書」（別様式）を添付してください。		
4 障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めて問い合わせする場合があります。		

肝臓の機能障害の状態及び所見

1 肝臓移植

肝臓移植の実施	有 ・ 無	実施年月日	年 月 日
抗免疫療法の実施	有 ・ 無		

注 肝臓移植を行った者であつて、抗免疫療法を実施しているものは、2、3及び4の記載は省略可能である。

2 障害の変動に関する因子

	第1回検査	第2回検査
180日以上アルコールを摂取していない	摂取 ・ 非摂取	摂取 ・ 非摂取
改善の可能性のある積極的治療を実施	実施 ・ 未実施	実施 ・ 未実施

注 アルコール摂取又は積極的治療未実施に1つでも該当するものは、障害認定の対象としない。

3 肝臓機能障害の重症度

	検査日 (第 1 回)		検査日 (第 2 回)	
	年 月 日		年 月 日	
	状 態	点 数	状 態	点 数
肝 性 脳 症	なし・I・II III・IV・V		なし・I・II III・IV・V	
腹 水	なし・軽度 ・中程度以上 概ね 1		なし・軽度 ・中程度以上 概ね 1	
血清アルブミン値	g/dl		g/dl	
プロトロンビン時間	%		%	
血清総ビリルビン値	mg/dl		mg/dl	

合 計 点 数	点	点
3点項目の有無 (血清アルブミン値、プロトロンビン時間又は血清総ビリルビン値)	有 ・ 無	有 ・ 無

注

1 90日以上180日以内の間隔をおいて実施した連続する2回の診断及び検査結果を記入すること。

2 点数は、Child-Pugh分類による点数を記入すること。

<Child-Pugh分類>	1 点	2 点	3 点
肝 性 脳 症	なし	軽度 (I・II)	こゝろ 昏睡 (III以上)
腹 水	なし	軽度	中程度以上
血清アルブミン値	3.5g/dl超	2.8~3.5g/dl	2.8g/dl未満
プロトロンビン時間	70%超	40~70%	40%未満
血清総ビリルビン値	2.0mg/dl未満	2.0~3.0mg/dl	3.0mg/dl超

3 肝性脳症の昏睡度分類は、犬山シンポジウム (1981年) による。

4 腹水は、原則として超音波検査、体重の増減及び穿刺による排出量を勘案して見込まれる量が概ね1l以上を軽度とし、3l以上を中程度以上とするが、小児等の体重が概ね40kg以下の者については、薬剤によるコントロールが可能なものを軽度とし、薬剤によつてコントロールできないものを中程度以上とする。

4 補完的な肝機能診断、症状に影響する病歴及び日常生活活動の制限

補完的な肝機能診断	a	血清総ビリルビン値5.0mg/dl以上		有 ・ 無
		検査日	年 月 日	
	b	血中アンモニア濃度150 μ g/dl以上		有 ・ 無
検査日		年 月 日		
c	血小板数50,000/mm ³ 以下		有 ・ 無	
	検査日	年 月 日		
症状に影響する病歴	d	原発性肝がん治療の既往		有 ・ 無
		確定診断日	年 月 日	
	e	特発性細菌性腹膜炎治療の既往		有 ・ 無
		確定診断日	年 月 日	
	f	胃食道静脈瘤 ^{りゅう} 治療の既往		有 ・ 無
		確定診断日	年 月 日	
	g	現在のB型肝炎又はC型肝炎ウイルスの持続的感染		有 ・ 無
最終確認日		年 月 日		
日常生活活動の制限	h	1日に1時間以上の安静臥床を必要とするほどの強いけん怠感及び易疲労感が月に7日以上ある		有 ・ 無
		i	1日に2回以上の嘔吐 ^{おう} あるいは30分以上の嘔気 ^{おう} が月に7日以上ある	
	j		有痛性筋けいれんが1日に1回以上ある	

該 当 個 数	個
補完的な肝機能診断又は症状に影響する病歴の有無	有 ・ 無

注 補完的な肝機能診断 (a、b、c) は、「3 肝臓機能障害の重症度」の2回の検査期間内の結果とすること。